

年次活動報告

2024

CONTENTS

1. 当事者がつながる場をつくる

2. 当事者の声を社会に届ける



1. 当事者がつながる場をつくる

オンライントーク

全12回開催・参加者のべ79名

前年度から引き続き、当事者や経験者がつながる場として、オンライントークを開催。

全国各地から、10代から60代までの幅広い年代の方々に、ご参加いただきました。

話題は、近況や今の気持ち、悩みなどさまざまです。言語化し、共感し合う中で多くの気づき生まれ、摂食障害と向き合うヒントや、生きるための教訓を共有する場になっていると感じています。

つながり、共感しあえることが力になると信じて、今後も安心して参加できる場づくりを続けていきます。



【開催実績】

回	開催日	参加者数
第23回	2024年1月27日	5名
第24回	2024年2月10日	5名
第25回	2024年2月24日	7名
第26回	2024年3月23日	7名
第27回	2024年4月13日	5名
第28回	2024年6月22日	9名
第29回	2024年7月27日	7名
第30回	2024年8月24日	7名
第31回	2024年9月28日	8名
第32回	2024年11月2日	7名
第33回	2024年11月23日	7名
第34回	2024年12月28日	5名

※回数は開催当初からの通算です。

お茶会

参加者15名

2023年に引き続き、画面オフ・聞くだけ参加OKの場として、オンラインでのお茶会を開催。

当日は、当事者の体験談の共有やフリートークを通して、参加者の皆さまと、心あたたまるひと時を過ごすことができました。

【開催実績】開催日：2024年3月9日 / 参加者数：15名



2. 当事者の声を社会に届ける

シンポジウムの開催

参加者161名（会場・オンライン）

摂食障害をめぐる現状や当事者の声を、広く関係者の皆さまと共有することを目的に、シンポジウムを開催しました。

当日は、治療者・当事者がそれぞれの立場から率直に意見を交わし、現状や課題を共有する貴重な機会となりました。

開催概要

「ともに向き合う 摂食障害シンポジウム」 ～当事者の現状と治療の最前線～

【日時】2024年10月27日（日）13:30～16:00

【会場】福岡市NPO・ボランティア交流センター
あすみん セミナールーム※オンライン併用

【登壇者】

- 高倉 修 先生（九州大学病院 心療内科 講師／福岡県 摂食障害支援拠点病院）
- 米良 貴嗣 先生（八幡厚生病院 診療部長）
- 江上彩音、RYO、SAKI（ふくおか摂食障害ともの会）

プログラム

- 基調講演
 - ◇ 福岡県摂食障害支援拠点病院の取組み（高倉先生）
 - ◇ 米国の摂食障害治療と日本における可能性（米良先生）
- 当事者からの報告
 - ◇ アンケート調査からみる当事者の実態（江上 彩音）
 - ◇ 当事者の体験談（RYO／SAKI）
- パネルディスカッション



参加者さまのご感想

内省のプロセスを経て、少しずつ自分軸を構築された当事者のおふたりのエピソードに感銘を受け、勇気をいただきました。

先生方が、当事者に思いやりと深い理解をもったコメントをなさっていて、温かく有意義なディスカッションでした。

結果は、記録冊子及びYouTubeで公開中

当事者の方が、勇気を出して体験談を共有してくださり、摂食障害に対する理解を広めたいという思いが伝わりました。

治療者と当事者が関わりながら、シンポジウムの開催に至ったことが素晴らしいと思いました。



※大和証券財団ボランティア活動助成を受けて開催いたしました。

2. 当事者の声を社会に届ける

当事者アンケート調査

全国155名の皆様にご協力頂きました

摂食障害の当事者の実態把握を目的として、アンケート調査を実施しました。アンケートを通して、当事者の困りごとや心境を明らかにすることができました。また、シンポジウムなどの場で結果を共有することで、当事者の実態を広く知っていただくことができました。

実施概要

- 【対象】 摂食障害の当事者
- 【期間】 2024年2月～3月
- 【方法】 WEBアンケート
- 【回答数】 155件

主な調査項目

- ・症状や治療状況、困りごと
- ・周囲への相談状況
- ・回復のための試み
- ・摂食障害と向き合う心境 等



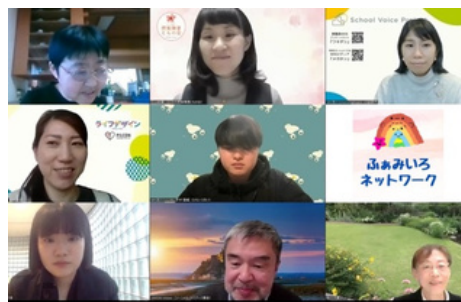
※ソーシャル・ジャスティス基金様の助成を受けて実施いたしました。

フォーラム登壇

ソーシャル・ジャスティス基金様が主催するフォーラムに登壇。他の助成団体の皆さまとの対話から、多くの学びがありました。

【フォーラム概要】

- ・助成発表フォーラム第12回 (2024年1月19日)
- ・ソーシャル・ジャスティス連携ダイアログ 2024.Autumn (2024年11月16日)



総括

2024年は、発足当初から継続しているオンライントークに加え、2つの助成事業に採択いただき、アンケートやシンポジウムなど、新たな挑戦ができました。

活動を通し、私たちの活動趣旨に共感してくださる方々と、新たなつながりが生まれた嬉しい年でもありました。

つながってくださった皆様に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。